

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2015年9月18日

～年齢と密接に関わる「深視力」を知るために～
高齢者ドライバー向けの安全運転啓発ツールを作成

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社(社長:柄澤 康喜)は、高齢者ドライバーの安心・安全なカーライフをサポートするため、10月から、安全運転啓発ツール「まごころドライブ(冊子)」の配布および「くるま撮リック(Webコンテンツ)」の提供を開始します。

交通事故件数に占める高齢者ドライバーによる事故の割合は年々増加していますが、その原因の一つとして、「視力の低下」が挙げられます。当社は、さまざまな視力の中から、加齢とともに衰えやすい、奥行きを把握する視力である「深視力」に着目し、本ツールを開発しました。高齢者ドライバーの皆さまに「深視力」についての理解を深めていただくことで、交通事故における被害の防止・軽減に寄与していきます。

三井住友海上では、今後も、商品・サービス等の開発を通じて、事故防止や防災・減災に繋がる取り組みを進めていきます。

1. 「まごころドライブ」の特長

「視力の低下が引き起こす事故事例」「深視力の紹介」等を収録した高齢者ドライバー向けの冊子です。

特集記事では、お孫さんとのドライブシーンを通じて、高齢者ドライバーが起こしやすい事故や注意すべきポイントを楽しみながら確認できます。

なお、本ツールは三井住友海上の営業課支社・代理店を通じて配布します。



2. 「くるま撮リック」の特長

ご自身の「深視力」を手軽にチェックできるほか、交通事故と密接に関わる視力全般についてゲーム感覚で学ぶことができるツールです。

当社HPまたはスマートフォン専用アプリ「スマ保※」からどなたでも利用可能です。

※当社が独自開発したスマートフォン利用者向けの無料アプリです。「自動車の安全運転診断」や「広域災害時の避難所への誘導支援」など、防災・減災に繋がるさまざまな機能を備えています。



3. 本ツール開発の背景

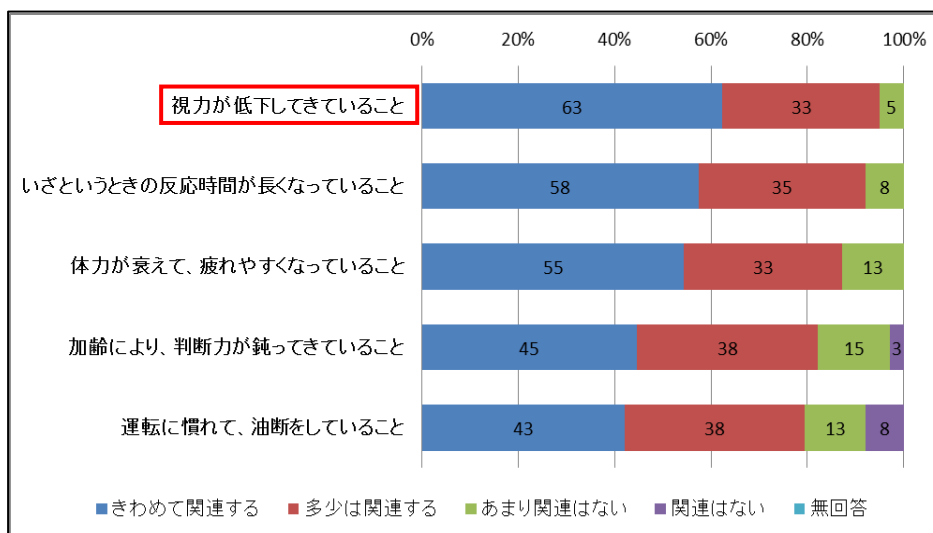
近年、交通事故件数に占める高齢者ドライバーによる事故の割合が増加しており、平成26年の警視庁統計では、全体の20%以上を占めています。こうした社会環境を踏まえ、当社は、これまで蓄積してきた事故防止のノウハウを活かし、高齢者ドライバーが注意すべきポイントを分かりやすくお伝えすることで、安心・安全なカーライフをより長く楽しんでいただくべく、本ツールを開発しました。

以上

添付別紙：高齢者による交通事故の状況 ほか

1. 高齢者による交通事故の状況

交通事故件数が減少する一方、65歳以上の高齢者ドライバーによる事故の割合は年々増加しています。特に「視力の低下」は交差点での右左折や車線変更の際など、さまざまな事故を引き起こす原因とされており、50代以降からは「視力の低下」による事故の比率も増大します。



< 50代から事故の比率が増大する理由（※） >

※出典：自動車安全運転センター

「平成21年 加齢に伴う職業ドライバーの運転技能の変化に関する調査研究」

2. 「深視力」について

「深視力」とは距離感を認識する能力で、40代から徐々に低下していく傾向にあります。「深視力」の検査は「さんかん試験」と呼ばれ、3本の棒の内真ん中の1本が前後に移動し、固定された2本の棒と並んだと感じたときにボタンを押してズレを測定します。

「くるま撮リック」はこの検査と同じく、接近してくる中央の車を両脇の2台の車に揃えるゲームであり、本ツールを通じて「深視力」をチェックできます。



< くるま撮リックの結果画面 >

3. スマートフォン向けアプリ「スマ保」

「スマ保」は、累計ダウンロード数が50万件を超える当社独自のスマートフォン向けアプリです。どなたでも無料でダウンロードが可能で、「安全運転チェッカー」など、防災・減災に繋がるさまざまな機能を搭載しています。

<安全運転チェッカー>

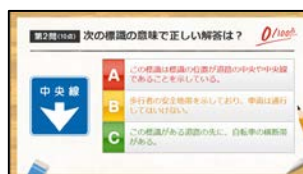
運転適性を気軽に楽しくチェックできるゲームです。その第5弾として「くるま撮リック」を開発しました。



第1弾：速度予測ゲーム
「ゴールの瞬間」



第2弾：注意力ゲーム
「ターゲットを見逃すな」



第3弾：交通ルールクイズ
「全国统一交通プレテスト」



第4弾：判断力ゲーム
「TOUCH THE CAR NUMBER」

以上